

みんな で 学ぼう 平成24年度決算報告と町の財政状況 わが町のお金の使い道



ひこざえもん
彦左衛門さん



えこたん

今年もわが町の台所事情をお知らせする時節となりました。平成24年度の1年間で町が使ったお金の中身をご覧いただき、今後の町政の動きを知っていただきたいと思います。

今年も財政事情に詳しい町のご意見番「彦左衛門」さん（文中では彦左さん）の登場です。質問者は、環境と都市交通のイメージキャラクターの「えこたん」、進行役は広報担当「T」が務めさせていただきます。

◆ 一般会計

T: それでは、24年度の決算の特徴から教えてください。

彦左さん: そうじゃのう。一般会計の決算は、23年度と比べると歳入も歳出も減ったんじゃ。歳入は、評価替えにより固定資産税が減ったり、相見駅の完成により国からの補助金が減ったりしたんじゃ。歳出では、全体で16億円も減ったんじゃが、それは23年度末に相見駅が完成したので24年度はその分の歳出が減ったことが大きいんじゃ。だけど注意しなくちゃならんのが、財源不足を補うために貯金しておいた財政調整基金を23年度は3億円取り崩したんじゃが、24年度は10億円も取り崩さなくちゃならんほど、財源が不足したんじゃ。えこたん: うわー大丈夫なんですか。彦左さん: このままの税収だと、今後も貯金を取り崩さないとやっていけないから、さらに歳出を削減して、計画的に事業を実施しないといけないのじゃ。T: 大変ですね。それでは24年度はどんな事業が行われたのですか？彦左さん: それじゃあ、24年度に取り組んだ大きな事業について話をするかのう。

まず、一番大きな事業は、防災行政無線のデジタル化整備事業じゃな。皆さんの家の近くに銀色の鉄柱が立って、上のラッパから声が聞こえているはずじゃ。

次に、相見駅周辺整備として雨よけや駐輪場の整備、道路新設改良事業では、坂崎野場1号線などの道路整備工事を行ったのじゃ。大草やわした保育園の用地を取得し借地解消も行ったのじゃ。

これらをひっくるめて普通建設事業と言うのじゃが、相見駅が完成したため23年度の半分の17億円に減ったのじゃ。

えこたん: ほかに何か気になるところはありますか？

彦左さん: 扶助費じゃな。これは、各種福祉サービスや福祉手当の費用、中学校卒業までの子ども医療の無料化などの医療費助成や児童手当などの町民を援助するための費用じゃが、これらが年々増加しているのじゃ。

えこたん: 増え続けているのが気掛かりですね。

彦左さん: そのとおりじゃ。今後も、注意深く見守っていかなければならんぞ！

T: それでは、そのほかの主な費目もどんなものが教えてください。

彦左さん: それじゃあ、物件費から説明しようかの。これは、役場など

公共施設で働くパートさんの賃金をはじめ事務用品などの消耗品に使われたもので、一番大きいのはなんといても委託料じゃ。公共施設を維持していくのに必要な施設の管理や保守点検を専門の業者に委託した経費で、町民会館・図書館・市民プール・高齢者生きがいセンター・ふれあいプラザ・道の駅の6つの施設は指定管理者制度によって管理運営を委託しているのじゃ。子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌などのワクチン接種の減少もあり全体としては1億円以上も減ったのじゃ。

えこたん: 23年度は最近では最も多額になっていたので、減って安心したわ。

彦左さん: 安心しきってはいかんぞ。つぎに公債費は、借金の返済に充てられたものじゃ。24年度は国営かんがい排水事業などで3・7億円借りたんじゃが、11・3億円返済し借金残高が7・6億円ほど減ったのじゃ！ほだけど借金残高はまだ75億円もあるのじゃ。

えこたん: えーまだそんなにあるんですか？

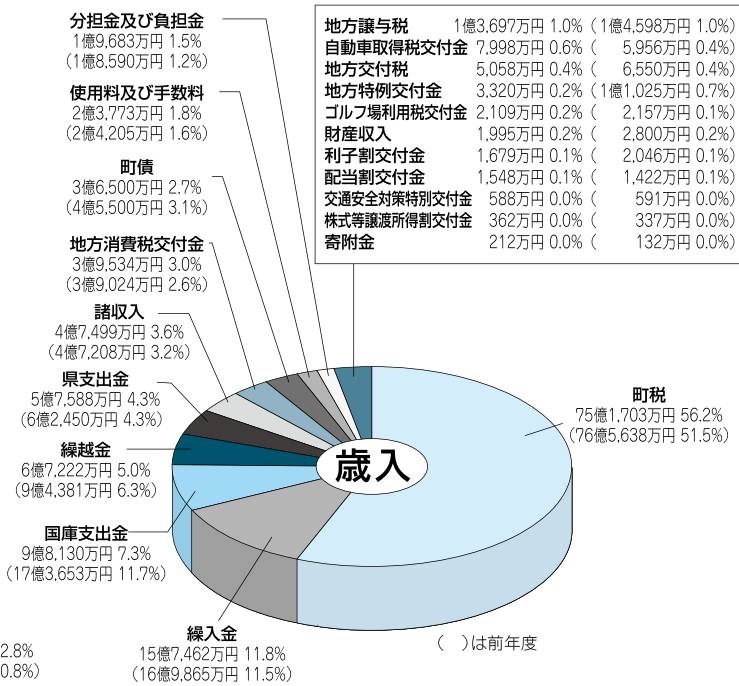
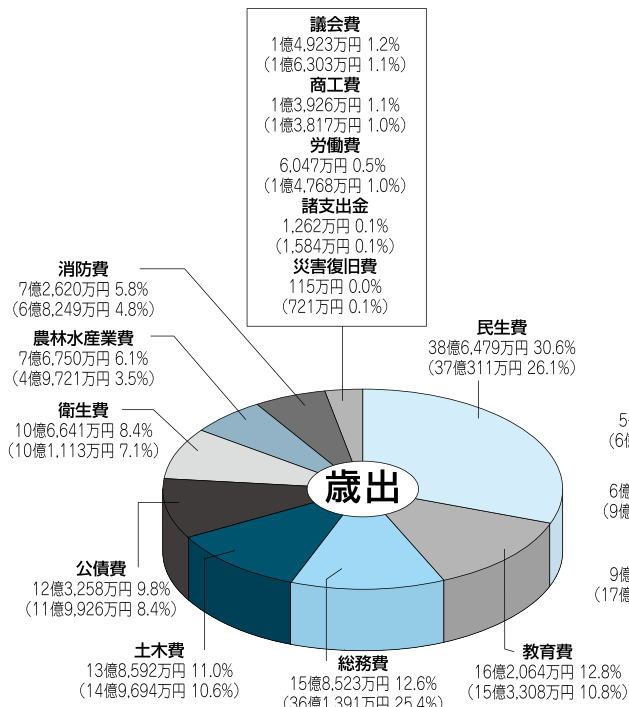
彦左さん: そうじゃ。でも、今後も必ず返済額以下の借り入れのルールを守って、借金を減らしていく覚悟じゃよ！

えこたん: 次に繰出金は…

彦左さん: それはまかせてね！幸田

歳出 126億1,200万円
(前年度：142億906万円)

歳入 133億7,659万円
(前年度：148億8,128万円)



○費目別区分

人件費	31億853万円	24.7%	(30億5,804万円 21.5%)
物件費	19億4,772万円	15.5%	(20億8,175万円 14.7%)
普通建設	17億3,258万円	13.7%	(34億7,228万円 24.4%)
扶助費	15億9,381万円	12.6%	(15億6,651万円 11.0%)
補助費等	14億3,816万円	11.4%	(13億7,650万円 9.7%)
公債費	12億3,258万円	9.8%	(11億9,926万円 8.4%)
繰出金	12億1,376万円	9.6%	(11億1,969万円 7.9%)
維持補修費	2億3,837万円	1.9%	(2億1,324万円 1.5%)
貸付金	9,000万円	0.7%	(9,050万円 0.6%)
積立金	1,534万円	0.1%	(2,407万円 0.2%)
災害復旧費	115万円	0.0%	(721万円 0.1%)

○町税内訳

固定資産税	40億1,849万円	53.4%	(42億3,899万円 55.4%)
町民税	28億7,775万円	38.3%	(27億8,008万円 36.3%)
都市計画税	2億7,636万円	3.7%	(2億9,130万円 3.8%)
たばこ税	2億6,819万円	3.5%	(2億7,164万円 3.5%)
軽自動車税	7,229万円	1.0%	(7,049万円 0.9%)
入湯税	395万円	0.1%	(388万円 0.1%)



■都市計画税の使いみち

都市計画税は、都市計画事業などのための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	都市計画税からの充当額
都市計画総務事業	7,412万円	2,124万円
土地区画整理事業	1億7,989万円	4,372万円
街路事業	868万円	253万円
公園事業	7,775万円	1,473万円
幸田駅前土地区画整理事業	6億3,621万円	9,213万円
公共下水道事業	5億7,841万円	1億201万円
合計	15億5,506万円	2億7,636万円

※主に、下水道整備、幸田駅前土地区画整理、彦左公園トイレ等バリアフリー整備などに充当

■入湯税の使いみち

入湯税は、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課されるもので観光の振興および観光施設の整備などに要する費用のための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	入湯税からの充当額
観光事業	458万円	395万円

※主に、相見駅前観光案内板設置などに充当

町には特別会計や企業会計というのがあるが、それを運営するために一般会計から支出するお金を繰出金って言うんですね。

彦左さん…そのとおりじゃ。23年度よりも8.4%も伸びているのじゃが、今後も適切に繰り出しをする必要があるんじゃないよ。

ここまでの話は、一般会計と言うてな、税金などを財源として福祉や教育、消防など町民に広く行われる行政活動における歳入・歳出の会計の話じゃが、幸田町にはそのほかに7つの特別会計と1つの企業会計が設けられておるのじゃ。

◆特別会計・企業会計

T…では、24年度の幸田町の特別会計と企業会計でどのようにお金が使われたのか教えてください。

彦左さん…よっしゃ。ちよつと長くなるが辛抱してくれ。一般会計は主に税金を財源として運営されているのじゃが、特別会計は、ある特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理するための会計なのじゃ。

まずは、**土地取得特別会計**じゃ。この会計はな、公用・公共用に使われる土地や公共の利益のために事前に土地を購入するための会計なんじゃ。

24年度は、荻谷小学校拡張用地の先行取得と、保有土地の売払いが主なものじゃった。

国民健康保険特別会計はな、ほかの健康保険などの適用を受けない町民が病気やケガをしたときに本人の負担以外の医療費を医療機関などに支払ったり、出産や死亡したときに経費の一部を支給したり、皆で支え合う会計なのじゃ。

24年度末の加入状況は、4,712世帯8,860人がこの保険に加入しておるわけじゃ。

後期高齢者医療特別会計はな、75歳以上の高齢者に係る医療保険に関する会計じゃ。

後期高齢者医療に関しては、医療費の給付などは広域連合で行い、この特別会計では、保険料の徴収と健康診断などの事業を実施しておるのじゃ。24年度末の被保険者数は3,318人じゃ。

介護保険特別会計はな、高齢になって、介護が必要となった場合に受ける介護サービスの本人負担以外の経費を、加入者と税金で負担し介護サービス事業所などに支払う会計をいうのじゃ。

24年度末では、590人が要介護、218人が要支援の認定を受けて各種サービスを受けたのじゃ。

次は、**幸田駅前土地区画整理事業特別会計**じゃ。この会計は、幸田駅前地区の区画整理事業を円滑に施工するための会計なのじゃ。

24年度は、建物移転補償などの事業が主なものじゃった。

農業集落排水事業特別会計はな、

幸田町は、全町下水道化を推進しており、この会計は農村集落の環境整備の一つとして進められておるのじゃ。町内13地区すべて供用開始されており、それらの施設の維持管理事業を行っておるのじゃ。

下水道事業特別会計はな、農村集落以外の市街地の下水道整備などを運営しておる会計じゃ。

幸田町では、既存の市街化区域の整備がおおむね完了し、周辺集落区域と新市街化区域の整備をしたん

じゃ。

24年度末で農業集落排水と下水道などの汚水処理人口は、38,602人となり、普及率は99.6%となつたわけじゃ。

最後は、**水道事業会計**じゃ。この会計は企業会計と言つてな、幸田町の水道事業の運営がされておる会計なのじゃ。

幸田町の水道普及率は24年度末99.7%で、水源は県企業庁から水を買って各家庭に配水しておるのじゃ。24年度の総配水量は約461万立方分で、1日に永野水道山タンク2.5杯分で、23年度と比べると24年度は10万立方分の増加となつたのじゃ。

どうじゃな、この厳しい財政状況の中、限られた財源を生かしながら幸田町では実にさまざまな事業が進められておるのじゃ。分かってもらえたかのう。

えこたん…ふーいっばい数字が出てきて、疲れました。景気は回復しつつあるけど、海外景気の下振れや消費税増税などもあり、依然と不透明な状況が続く見込みなので、町の財政もやりくりが大変になってきているんですね。今後、お金の使われ方に関心を持っていきいたいと思います。

T…そうですね。町の財政状況もひとりとりが関心を持っていかねればいけないですね。

■決算状況

会計名		歳入 (a) (伸び率)	歳出 (b) (伸び率)	差額 (a) - (b)	
一般会計		133 億 7,659 万円 (10.1%減)	126 億 1,200 万円 (11.2%減)	7 億 6,459 万円	
特別会計	土地取得特別会計	1 億 1,593 万円 (5.1%増)	9,121 万円 (18.1%増)	2,472 万円	
	国民健康保険特別会計	30 億 5,416 万円 (4.0%増)	29 億 3,890 万円 (2.6%増)	1 億 1,526 万円	
	後期高齢者医療特別会計	2 億 7,625 万円 (14.6%増)	2 億 7,574 万円 (14.8%増)	51 万円	
	介護保険特別会計	13 億 5,094 万円 (10.5%増)	13 億 3,822 万円 (10.3%増)	1,272 万円	
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	6 億 4,892 万円 (16.1%増)	6 億 3,621 万円 (15.1%増)	1,271 万円	
	農業集落排水事業特別会計	3 億 7,180 万円 (3.5%増)	3 億 6,391 万円 (3.0%増)	789 万円	
	下水道事業特別会計	5 億 8,734 万円 (8.5%減)	5 億 7,841 万円 (8.6%減)	893 万円	
企業会計 (税抜き)	水道事業会計	収益的収支	6 億 3,995 万円 (2.4%増)	6 億 1,605 万円 (1.5%増)	2,390 万円
		資本的収支	1 億 3,045 万円 (6.2%減)	2 億 5,191 万円 (54.3%減)	▲ 1 億 2,146 万円
総合計		205 億 5,233 万円 (5.4%減)	197 億 256 万円 (7.5%減)	8 億 4,977 万円	

※歳入には翌年度繰越明許費 (事業財源分) 一般会計1億2,754万円、幸田駅前土地区画整理事業特別会計1,160万円を含む

指標で見る財政情報

経常収支比率

経常的・義務的経費に充てる割合
70～80%…適正
90%以上…要注意

24年度…95.6%
23年度…92.0%
22年度…83.4%



実質公債費比率

借金的一般財源に占める割合
10%以下…望ましい

24年度…9.4%
23年度…10.4%
22年度…10.9%



財政力指数

財政上の力を示す指数
指数が1以上の団体は
財政力の強い団体といえる

24年度…1.07
23年度…1.05
22年度…1.15



平成24年度に使われたお金を
町民一人当たり換算すると…

32万5,362円

(前年度 36万9,422円)

126億1,200万円 ÷ 38,763人
(一般会計) (H25.3.31)



■町民一人当たりを目的別に見てみると…

() 前年度

1	民	生	費	9万9,703円 (9万6,277円)			
2	教	育	費	4万1,809円 (3万9,859円)			
3	総	務	費	4万 895円 (9万3,958円)			
4	土	木	費	3万5,753円 (3万8,919円)			
5	公	債	費	3万1,798円 (3万1,180円)			
6	衛	生	費	2万7,511円 (2万6,288円)			
7	農	林	水	産	業	費	1万9,800円 (1万2,927円)
8	消	防	費	1万8,734円 (1万7,744円)			
9	議	会	費	3,850円 (4,239円)			
10	商	工	費	3,593円 (3,592円)			
11	労	働	費	1,560円 (3,840円)			
12	諸	支	出	金	326円 (412円)		
13	災	害	復	旧	費	30円 (187円)	

◎**一般会計・特別会計**
一般会計と各特別会計の決算総額は、前年度と比較し、歳入・歳出のおの減少となった。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支を始め、実質収支、単年度収支は赤字であった。町税などの未収金は、若干減少したが、債権管理については、きめ細かな対応とともに厳正な対処も必要である。また、主要な財務指標では、経常収支比率が年々悪化しているため、義務的経費の抑制を図りつつ、今後も比率の推移に注視していく必要がある。公債費比率も依然として高水準にあるため、計画的な起債に努められたい。

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正であると認められた。

決算審査報告

幸田町監査委員

羽根 潤

内田 等

保博

彦左さん：そのとおりじゃ。それを住民に分かりやすくお知らせするた

◎**総評**
平成24年度決算では、町民税などの増収があった反面、固定資産税の落ち込みが続き、歳入不足を補うために、基金の大幅な取り崩しを行うなど、厳しい財政運営を強いられた決算であった。本町職員においては、おのおのの職務における問題意識を常に持つとともに、全体のスキルを高め総力を結集して、地方公共団体の存立目的と役割を果たすため、より効率的・効果的な事務事業の執行を図り、住民サービスの向上はもとより、持続可能なまちづくりに一層の努力をされたい。

(平成24年度決算審査意見から)

◎**水道事業会計**
水道事業会計は、前年度と比較し、年間総配水量および年間総有収水量ともに増加している。総収益および最終純利益もおおの増加しているが、近年、有収率の低下傾向が見受けられるため、原因の調査と対策も必要である。安定かつ良質な水の供給に向け、インフラ整備などを計画的に進められたい。

めの、財政健全化の指標が公表されておるから、そちらも見てみるかの。

◆平成24年度決算に基づく健全化判断比率の公表

彦左さん…まず、財政健全化法について説明するかのう。これは、平成18年6月の北海道夕張市が財政破たんしたことを発端に、新しい法律ができ、平成19年度から毎年議会や住民に対して財政状況を公表することが義務付けられたのじゃ。

えこたん…健全化判断比率で何が分かるんですか？

彦左さん…そうじゃな、これまでの財政指標というのは、一般会計、土地取得特別会計と幸田駅前土地区画整理事業特別会計の3会計のみの決算額で計算する普通会計ベースの指標じゃったんじゃ。そのためにほかの特別会計や第3セクター、公社といった外部団体でいくら赤字があっても指標上は黒字決算になり、本当の財政状況が分からなかったんじゃが、新しい法律ができて、それらすべてを含めた連結決算により指標を公表することになったのじゃ。

えこたん…じゃあ、数値が悪いとどうなるんですか？

彦左さん…基準を一つでも超えれば、健全化計画を作成しなければならなくなつたんじゃ。

T…それでは、各指標について教えてください。

彦左さん…それじゃあ、ちょっと難しいけど財政健全化判断指標を一つずつ説明していこうかのう。

まずは、**実質赤字比率**じゃ。これは、福祉、教育、まちづくりなどの普通会計の赤字額を町税などの財源と比較して財政運営の深刻度を示しているのじゃ。幸田町は黒字じゃから数値は計上されなかつたんじゃ。

次に、**連結実質赤字比率**じゃ。これは、決算の報告をしている一般会計と7つの特別会計、それと水道事業会計の連結決算の指標じゃ。すべての会計の赤字と黒字を足して、全ての資金不足を把握するため、町税などの財源と比較して財政運営の深刻度を示しているのじゃ。これも幸田町は黒字じゃから数値は計上されなかつたんじゃ。

次に、**実質公債費比率**じゃ。これは、借入金の返済額などの大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示しているのじゃ。幸田町は3カ年平均が9.4%で基準値を下回っているのじゃ。

えこたん…基準以下なら安心ですね。

彦左さん…いや。下回っていても愛知県内の市町村の中では高い方なん

じゃ。数値自体は、23年度は10.4%だったから1%改善されており、危険なレベルではないけど、もっともっと借金を減らしていかなとな。

次に、**将来負担比率**じゃ。これは、特別会計や一部事務組合、幸田町にはないが第3セクターといった外部団体まで含めた借入金や将来支払っていく可能性のある負担の現時点での残高の程度を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示しているのじゃ。24年度は、23年度と同様に将来負担より貯金などの方が多くなったため数値は計上されなかつたのじゃ。

えこたん…それじゃあ、安心ですね。

彦左さん…あくまで指標じゃから安心とは言い切れないけど、今後不況が続くようじゃと数値が悪化してくるかもしれないので注意が必要じゃな。

最後に、**資金不足比率**じゃ。これは農業集落排水事業、下水道事業、水道事業の3つの公営企業の資金不足を、それぞれの料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示したもののじゃ。幸田町の公営企業はすべて黒字じゃから数値は計上されなかつたんじゃ。

えこたん…24年度もすべての指標が基準をクリアしていて良かったわ。

これからもしっかりとチェックしなかつちやね。

彦左さん…その通りじゃ。財政的に厳しい状況を迎えた今こそ、住民も議会もみんなでチェックすることが大事なんじゃぞ。

T…ここではほんの少ししかお伝えできませんが、詳しいことがお知りになりたい人は、幸田町のホームページ「財政」をご覧くださいね、役場へ来て聞いてくださいね。

問合せ 財政課財政G

(内線353)



▲幸田保育園の子どもたちとえこたん（幸田中央公園）

1 財政健全化判断比率

下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準を下回っています。

() は黒字比率

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	— (▲ 8.0%)	13.68%
連結実質赤字比率	— (▲ 25.3%)	18.68%
実質公債費比率	9.4%	25.0%
将来負担比率	— (▲ 29.9%)	350.0%

※早期健全化基準

財政健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上の場合、財政状況はイエローカードである「早期健全化段階」となり、財政健全化計画を定めなければならない。

○財政健全化判断比率の近隣市状況

市町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
幸田町	—	—	9.4%	—
岡崎市	—	—	▲ 1.0%	—
西尾市	—	—	6.4%	50.4%
蒲郡市	—	—	0.5%	—
県平均	—	—	5.1%	20.3%



※全国の自治体の状況については、総務省のホームページ (<http://www.soumu.go.jp/>) をご覧ください。

2 公営企業の資金不足比率

下表のとおり、資金不足を生じた公営企業はありません。

() は黒字比率

	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	— (▲ 8.2%)	20.0%
下水道事業特別会計	— (▲ 4.1%)	20.0%
水道事業会計	— (▲ 204.1%)	20.0%

※経営健全化基準

各公営企業の資金不足額の、事業の規模に対する比率であり、経営健全化基準(20%)以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければならない。

(注) 健全化判断の指標は、数値が高いほど健全性が低く、逆に数値が低いほど健全性が高いと判断される指標で、▲は赤字や資金不足がなく、より健全であることを示しています。